

御嶽山被災地で捜索活動  
田方消防本部に長官賞



▲森町長に受賞を報告する杉村田方消防本部消防長

このほど、長野県と岐阜県にまたがる御嶽山噴火の際に、現地で山岳救助や後方支援として活動した田方消防本部が、消防庁長官賞と長野県知事表彰を受賞したことを森町長に報告しました。

同消防本部は、昨年9月～10月にかけ、2度にわたって計16人の隊員を救助隊として派遣しました。

行方不明者の捜索などに挑んだ甲斐隊長は、「まだ発見されていない人もいます。大切な人の元へ必ず帰れるように心から願っています。」と捜索を振り返り思いを話してくれました。

小学生がマイクでPR  
春の火災予防週間防火パレード

3月1日～3月7日まで春の全国火災予防週間です。

3月1日の春の火災予防週間初日に、町内で火災予防防火パレードが行われました。

パレードには、東小学校6年生12人、函南町消防団、田方北消防署が参加しました。

参加した小学生は、消防車に分乗して町内を回り、「もういいかい 火を消すまでは まあだよ。」などの防火標語をマイクでPRしました。

また、女性消防団員により、町内の大型店舗で火災予防の啓発品を配布し、啓発を行いました。



▲消防車で町内を回り火災予防を啓発しました

入隊予定者を激励  
感謝の気持ちと決意を述べる



▲写真左から窪園堯之さん（大土肥）、平山勇太さん（上沢）、富田大智さん（上沢）、目黒大輔さん（塚本）

3月9日、伊豆市天城会館で田方地区自衛隊入隊予定者激励会が行われました。

平成27年度の田方地区の入隊予定者は、9人（函南町からは4人）で、激励会には、自衛隊、協力会関係者、保護者など約300人が出席し、入隊者の門出を祝いました。

出席した入隊者は、「今まで支えてくれた人たちに感謝の気持ちを忘れずに、立派な自衛官になりたい。」などの抱負を述べました。

また、激励会後には、陸上自衛隊富士学校音楽隊による記念演奏や陸上自衛隊第一師団長による記念講演が行われました。

東駿河湾環状道路開通1周年記念  
「効果と期待」を議論



2月11日、函南町文化センターで東駿河湾環状道路開通1周年記念シンポジウム「伊豆縦貫道による県東部・伊豆地域の未来づくり」が開催されました。

同シンポジウムでは、基調講演、提言・意見発表、パネルディスカッション「県東部・伊豆地域の未来づくり」、東駿河湾環状道路1周年に寄せて、県東部・伊豆地区の首長、関係団体による『県東部・伊豆・地域創生「絆」宣言』が宣言されました。

また、会場の外では関係市町による観光PR & 物産展が同時開催され、たくさんの来場者でにぎわいました。



①『県東部・伊豆・地域創生「絆」宣言』する近隣市町の首長②基調講演「伊豆地域のみちづくり」野野泰裕県交通基盤部長③基調講演「東駿河湾環状道路と伊豆縦貫自動車道の効果と期待」野坂周子国土交通省沼津河川国道事務所長④基調講演「海外の道、伊豆の道」高木敦子アムズ環境デザイン研究所長⑤関係市町による物産展



早春の伊豆路を駆ける  
第8回伊豆マラソン大会



▲三嶋大社のゴールを目指して走る選手たち

2月15日、伊豆市～三島市で第8回伊豆マラソンが開催されました。

修善寺駅をスタートし、伊豆の国市、函南町を北上し、三嶋大社をゴールとする21.7kmコースの部、三島市内を走る10kmコースの部、3kmコースの部の3コースに分かれ、町内外から約3,400人がエントリーし、早春の伊豆を駆け抜けました。

被り物をして走る選手、声援に笑顔で手を振る選手も見られ、富士山を眺めながら伊豆マラソン大会を十分楽しんでいる様子でした。